

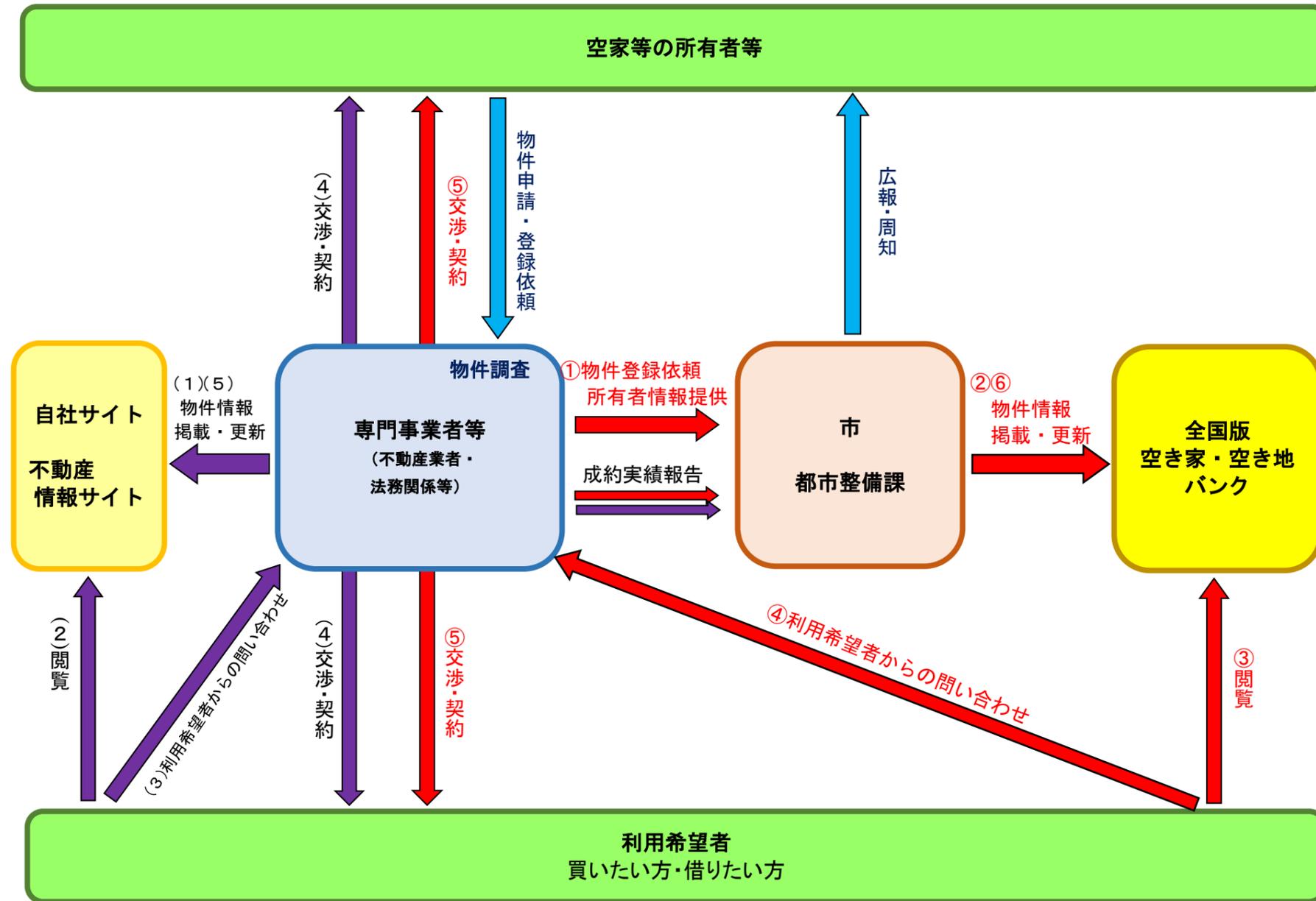
(仮称)久喜市空家等地域流通促進事業における空き家バンクとの連携について

[空き家バンクの現状と課題]

- 1 空き家バンクの現状
 - ・ 他自治体では登録戸数が伸び悩んでいる。
(飯能市5件、鴻巣市4件 等)
 - ・ 不動産サイトと比較して登録件数が格段に少ない。
(さいたま市266件、飯能市39件、鴻巣市36件 久喜市46件)
 - ・ 検索サイトで「中古住宅 ○○市」等のキーワードで検索しても1ページ目にインデックスが出ない。

- 2 空き家バンクを実施する場合の課題
 - ・ 認知度が低い。
 - ・ 空き家バンクを知っている人でなければ閲覧しない。
 - ・ 空き家バンクサイトへの誘導
 - ・ 所有者ではなく、利用者へのアプローチ
 - ・ 他自治体との差別化を図るのが難しい。

- 3 課題を解決する手段
 - <周知の徹底>
 - ・ 所有者等への改善依頼にチラシを同封する。
 - ・ 空家等実態調査で情報提供に同意した所有者へ新たな施策と一緒にチラシを送る。
 - ・ 市ホームページ、SNS、広報誌で周知する。
 - <連携事業者との協力>
 - ・ 連携事業者の自社サイトにリンクを貼る。



連携の範囲：空き家住宅、店舗併用住宅、農地付き空き家、空き地

➡ ①～⑥ 空き家バンクを利用した場合の流れ

➡ (1)～(5) 不動産ポータルサイト等の流れ